読書って楽しいよ！

# 課題の着眼点

えぽん

## ●子どもたちの活字離れ・読書離れ

「第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」の概要」より

**主な課題**

- ○ 小中学生の不読率※は，中長期的には改善傾向にあるが，高校生の不読率は依然として高い
- ○ いずれの世代においても第三次計画で目標とした進度での改善は図られていない

※不読率：１か月に一冊も本を読まない子供の割合

不読率は中長期的に改善傾向にあるとも見られるが、**目標には達しない**

浜松市の調査でも
**目標に達成した児童は5割程度**

「第2次浜松市教育総合計画 検証報告」より

【資料 13：子どもの読書量に関する調査】

| | 目標冊数 | 目標を達成した児童生徒の割合 |
|---|---|---|
| 小学校低学年 | 120 冊 | 58.6% |
| 小学校中学年 | 80 冊 | 56.1% |
| 小学校高学年 | 40 冊 | 59.2% |
| 中学生 | 20 冊 | 51.0% |

なぜ本を読まないか？

## ●デジタルネイティブな子供と親

デジタルの環境が当たり前の子どもたち

親も忙しい時は
スマホを渡した方が楽

動画やゲームなどあふれるコンテンツ量

## ●読書率低下の影響

- 国語力
- トータル学力
- コミュニケーション力
- 情緒豊かな感情・育み

# 課題へのアプローチ

えぽん

なぜこっちの方が楽しいのか？

↓

**音**が出るし、**動**くし、**反応**するし

↓

まさに「えぽん」（音が鳴り、絵が動き、声に反応する）

**【アプローチ】**
・幼少期から如何に楽しく読書をしてもらえるか？
・デジタルネイティブだからこそ活用できるものは無いか？

↓

**【調査・親御さんアンケート】**
・「黙読」よりも「音読」は特に幼少期の脳の成長、活性化にも良い

↓

**【えぽん誕生】**
幼少期から活字に楽しく触れる機会を作ることで、その後の読書にも興味を持ってもらう。ひいては情緒豊かな育みに繋げたいと考え「えぽん」を考案

お子さんを持つ親御さんを対象に音読に関するアンケート実施
（ラウドワークス：有効回答数100件）

音読は**子供の脳を活性化**させて、思考能力を高める効果があると思っているので、機会があるときは積極的に本の読み聞かせを行っていました。
(5歳男の子のお父さん)

## 家庭での活用

実際にご家庭で使ってもらい、感想などフィードバックを受け、都度改善継続中！
今まで絵本に興味なかった我が子が毎日寝る前に「えぽん」を読みたい！との声も。
また「えぽん」のおかげで上の子が下の子のために呼んでくれるようになったなど、**自然と活字や音読に興味をもつようになった**。

## えぽん巡業（保育園等での活用）

子どもたちに「えぽん」体験＆実際に子どもたちが音読

子どもたちが実際のクリスマスツリーに飾り付けをし、えぽん（デジタル）の中で「メリークリスマス」と音読すると、実際のツリーが連動して光る！リアルとデジタルの融合。
他にも実際のドローンやプラレールと連動。**保護者・先生方からも、子どもたちにとって創造とデジタルを合わせられることは高評価**

子どもたちにその場で自分のキャラクタを描いてもらい、
えぽん（デジタル）に取り込んで、音読体験！
自分の描いた絵が登場したり動いたりして大興奮！
単にデジタルだけでなく子どもたちの創造性も重視。
**今までにない新しい知育・コミュニケーションツールとしても高評価**